

三和区

『第41号 2020.3』

地域協議会だより

編集発行：三和区地域協議会
三和区総合事務所
編集責任者：三和区地域協議会
会長 松井 孝
三和区総合事務所
(総務・地域振興グループ)
TEL532-2323 FAX532-2623
sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

令和2年度 地域活動支援事業採択方針

▼1月16日(木)の第7回地域協議会において令和2年度地域活動支援事業における三和区の採択方針等を協議しました。その結果、令和元年度の方針を変更しないことと決定しました。詳細は下記のとおりです。
ただし、「この内容については、令和2年度当初予算の成立を前提としたものです。今後変更する場合がありますのでご了承ください。」

事前相談を受付けます

▼提案を希望される団体は、できる限り事前にご相談ください。

・相談期間

3月2日(月)から

3月31日(火)まで

(土曜・日曜・祝日を除く)

・相談場所

三和区総合事務所

総務・地域振興グループ

～令和2年度地域活動支援事業三和区採択方針等～

募集期間		4月1日(水)から4月24日(金) ※土、日曜を除く
補助率 限度額	補助率	・10/10以内 ※事業内容、審査の結果により補助金額の減額・調整を行う場合がある。 ・同一団体の同一事業については、採択3回目から8/10以内 ※令和元年度(平成31年度)事業からカウントする。
	上限	150万円
	下限	1万円
優先採択方針		6項目
提案件数の制限		制限しない
プレゼンテーションと ヒアリング		プレゼンテーションを主体としたヒアリングを実施する。必要に応じて現地確認を行うことができる。
審査 方法	説明	ヒアリング時に提案者が説明 必要に応じて事務局が補足する場合がある。
	協議	委員全員による協議とする。
	採点	採点票により委員個々に採点する。
	利害 関係者	提案団体の代表者が委員の場合、審査から除外する。 提案事業に関わっている場合は委員の自主判断とする。
採択ライン (下限点数)の設定		13点(25点満点)
補助対象外		防犯灯等のLED化
採択事業の決定		ボーダーライン上の事業及びその下位の順位で採択ラインに達している事業について、事業内容等を勘案し全体協議を経て、補助金額等を調整し採択することができる。
追加募集		残額が配分額の5%を目安とし追加募集を行う。ただし、追加募集は、1回とする。

地域協議会を

振り返って

地域協議会委員の任期が終了することから、委員の皆さんから感想やこれまでの思いなどをうかがいました。 ※席順
(任期H28・4・29～R2・4・28)

松井孝 会長(岡田)

地域協議会委員として、自主自立のまちづくりの実現を目指して任に当たりました。特に地域活動支援事業については、採択からアフターフォローまで時間をかけ取り組みました。各団体のその後の活動計画についても聞き取りを行い、皆さんの行う活動の手助けになれたことをうれしく思います。

地域活動支援事業について、当初は、歴史的資産の保全・保存事業が多く提案がありました。最近では団体等の提案に偏り傾向があります。

地域協議会委員として色々な団体の方、特に三和中学2年生と意見交換を行ったことが印象に残っています。

まだ、地域の課題検討が残っています。にぎわいのある地域となるような活動を望みます。

金井茂康 副会長(水吉)

自主的審議事項において、前期委員より引継ぎ「小学校のあるべき姿」について平成28年度から自主的に審議を行い、保育園、各小学校の保護者、地域住民の皆様と意見交換を行い、意見をまとめて意見書を提出し回答書をいただきました。

地域活動支援活動においても、三和区に配分された予算の範囲内で審査を行いました。今まで地域住民の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

飯田英利 委員(川浦)

上越市の人口・世帯の動向や三和区の小中学生の将来推計を目的の当たりにし、活動の一助を通じて地域課題の深刻さを肌で感じ、次第に地元町内会の状況とも重ねて焦燥感に駆られました。

そんな中に地域活動支援事業のアフターフォローで垣間見た地域活性化を熱く語る女性達や中学生との意見交換では、彼ら目線でのワークシヨップの中で多彩な意見を整理し、起承転結で発表した生徒に舌を巻きつつ、思いは同じだと頼もしく思えました。

江口一秋 委員(神明町)

地域協議会委員となり早くも4年が経過しようとしています。この間、地域活動支援事業の審査や区内3小学校のあるべき姿について取り組みました。

小学校のあるべき姿については、各団体や地域住民の方の意見をお聞きし、取りまとめ、市長へ意見書を提出することができました。教育改革方針の中で、「変化の激しい時代を生きる子どもたちが社会の中で活躍できる資質・能力を育成する」と示されています。子どもは地域の宝であり、より良い学校生活を送れることを願っています。今後とも地域課題について話し合い、一歩一歩前に進められたらと思っています。

小林則子 委員(錦)

早4年の任期が終わろうとしています。過ぎてしまえば、とても短く思えます。

今期は「小学校のあるべき姿」について、勉強会や話し合いに開かれたことは大きなことでした。

また、三和区地域協議会として地域の課題を掲げたが、もう少し検討・協議が行われればよかったと感じています。

次期委員には、是非、積極的に若い方や女性の方に参加いただきたいと思えます。ありがとうございました。

江口晃 委員(越柳)

地域協議会委員としての活動を振り返り、一番印象に残っているのは自主的審議事項です。小学校のあるべき姿について、各地区で意見交換を行い、直接住民の皆さんと意見交換を行ったことは大変貴重な経験でした。

地域活動の基本は、町内会組織での活動であると思っております。地域協議会においても今ま

で以上に地域住民の皆さんとコミュニケーションを図りながら地域の課題を共有し、課題解決に向けて取り組む姿勢が必要になると思います。

高橋鉄雄 委員（今保）

早急で今日的な課題に対しては、より活発でスムーズにまとまっていくが、意見の集約に長期のタイムスケジュールを要した「小学校のあるべき姿」では、住民の総意を基本とし、きめ細かな対応を通して、地域の声を反映していかなければならない大きな役割を求められた事項でした。また、その中で想像と創造を巡らす大切さを学んだ貴重な実践の場でもありました。自問はしますが、答えの先延ばしが多くなったこの頃、委員として住民目線の発信者であったか反省の残る4年間でした。

田辺敏行 委員（井ノ口）

「小学校のあるべき姿」について、地域の多くの皆さんの意見を集約し、自主的審議事項として協議を行い、意見書として提出しました。市長から「区内

の小学校の望ましい教育環境を明確にしたうえで、その実現に向けて取り組む」と回答を得られた際に、地域協議会委員としての役割を担ったと感じました。

公共施設等の設置や廃止の諮問では、自分自身の地域の現状の認識があまく、より良い答申ができず勉強不足を痛感している今日この頃です。

星野幸雄 委員（神明町）

直江津地区から神明町に移り住んで30年以上になります。会社と自宅の往復でした。会社を定年退職してふと考えた時に、地元のことを知らないことに気づいた次第です。ボランティア仲間から地域協議会のことを知り参加させていただいています。

自主的審議事項で「小学校のあるべき姿」について協議しました。地域へ出向き色々な意見をいただきました。

また、地域活動支援事業では、色々な団体が三和区を盛り上げるアイデアを知ることができました。

これらのことは私の大きな宝となり、この宝を今後何かの役に立つように考えていきます。

松井隆夫 委員（沖柳）

地域を創る地域協議会委員として何かをしなければ、前向きに動かなければ、そして区民の皆さんと共に課題解決に努力する事とした当初の自分の思いに真剣に取り組み、実践してきたかを反省する昨今です。

委員応募の動機として掲げた5項目のひとつとして「小学校の統廃合について」は、全委員と自主的審議事項として取り組み、さらに数年に亘った意見交換等の実施により理解を深めることができました。結果として方向性を見出すことができたことに、一委員として区民の皆様にお礼申し上げます。本当にお世話になりました。

丸山孝明 委員（塔ノ輪）

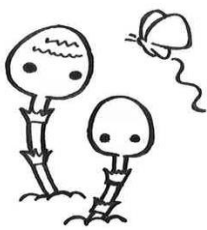
任期満了にあたり思い返してみますと、4年間もあつという間に過ぎたように思います。この間多くの地域活動支援事業が提案され、地域協議会で審議し採択されてきました。この事業により地域の活性化、発展に結びつけられたと感じています。令和2年度の募集も始まりますが、住民主体のまちづくりが更に進展することを願っています。4年間ありがとうございました。

宮沢和一 委員（北代）

早いもので委員となり4年が過ぎようとしております。地域住民の皆様の声に耳を傾け、地域の課題や活性化に少しでもお役に立てるよう活動してきました。

自主的審議事項として多くの時間を費やした「小学校のあるべき姿」の協議で、多くの方々と意見交換を行えたことは、大変貴重な体験でした。

今後は、若者や女性の皆様に大勢参加いただき、大いに改革していただきたいと思います。



森由美 委員（野）

4年間地域協議会委員を経験し、強く感じたことがあります。それは、対話力です。協議中に各委員の話聞き、自身の意見を相手に伝わるように話すことが重要です。任期中は、自分の意見をきちんと口にする事、自分のことばかり言わずに他者に意見を促すことも大切だと感じました。対話が成立しなければ、新たなものは生まれてこないと思います。協議会だけでなく、地域活動においても、色々な場面で対話は大切です。対話のできる社会を希望します。

渡邊政則 委員（稲原）

地域活性化のお役に立てればとの思いから委員に応募させていただきました。

自主的審議事項として取り組んだ「小学校のあるべき姿」での協議で、地域や保護者の方々の意見交換会、アンケートによる意見確認等を経て、意見書の提出までできたことは大きな成果だったと思います。

地域活動支援事業においては、ユニフォームの購入も可能としたところ各学校、団体など

からの応募が増加し、結果的に多くの子どもたちから喜んでくれたのは大きな成果だったと思います。皆様本当にありがとうございました。



次期地域協議会委員の公募受付中です！

▼公募期間

3月9日（月）～
3月22日（日）

（土曜・日曜・祝日も受付します。）

▼受付時間

午前8時30分～午後5時

▼応募方法

総務・地域振興グループにある応募書類に必要事項を記入し、ご本人が直接提出してください。

（応募書類は市のホームページからもダウンロードできます。）

▼書類提出先・お問合せ

三和区総合事務所

総務・地域振興グループ

地域協議会・地域活動支援事業活動報告会及び公募説明会を開催しました

▼現在の地域協議会委員の任期が4月28日をもって終了することから、地域協議会及び地域活動支援事業活動報告会と併せて公募説明会を2月27日（木）にコミプラ多目的ホールで開催しました。

次期委員の応募や令和2年度の地域活動支援事業の提案の参考にしていただきたいと思います。

◆地域協議会のうごき

- 2月12日（水）
第8回地域協議会
（令和2年度地域活動支援事業について ほか）
- 2月27日（木）
地域協議会活動報告会 ほか
- 3月9日（月）
第9回地域協議会
（休止中の施設の有効活用について ほか）

編集後記

暖冬小雪で桜の開花が待ちどおしい季節となりました。また、新型コロナウイルス感染拡大の早期終息を願っています。

今号の編集にあたり、今期委員のまとめとして、委員のコメントを掲載しました。最後までお読みいただきありがとうございます。

江口 一秋 記

【編集委員】

江口 晃
小林 則子
江口 一秋

